

# こうふ町 議会だより

## 町勢

世帯数／1,172世帯  
人口／3,892人  
(平成17年2月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ



希望にあふれて

紙しばい (子供の国保育園)

一般会計 1億460万円増額..... 3 P

一般質問 町政を問う..... 4 P

行政調査報告..... 10 P

町内事務調査報告..... 12 P



# 12月定例会

一般会計1億460万円増額  
予算総額37億777万円に

## 補正予算

平成16年12月定例会は、17日に召集され会期を24日までの8日間と定めて開かれました。

## 一般会計

今回の定例会には、平成16年度の一般会計補正予算と特別会計補正予算、他市町村の合併による規約の改正、武庫地区のほ場整備完了に伴う字の区域変更など22議案が提出されました。

議会ではこれらについて慎重に審議した結果、いずれも原案どおり可決しました。

21日の本会議では6名の議員が一般質問に立ち、町政発展に向けての活発な議論がかわされました。なお、本会期中には2名の方と米沢小学校の児童13名の傍聴がありました。

農、林道整備費負担金の減、町行、公団造林事業費の減。

### 総務費

442万円減

市町村合併推進費の減と防災情報センター管理費の増。

### 民生費

2639万円増

介護老人保健施設費で武庫地区チロル交流センターの解体工事費。

### 農林水産業費

3160万円減

農、林道整備費負担金の減、町行、公団造林事業費の減。

### 商工費

1410万円増

中小企業小口融資貸付金。

### 土木費

3634万円増

除雪経費と江尾杉谷美用原線道路改良工事費。

### 消防費

667万円減

消防施設費の減。

### 教育費

396万円減

上下水道改修事業費、テニスコート改修事業費の減。

### 災害復旧費

6863万円増

公共土木施設、農業用施設災害復旧費の増。

## 特別会計

主なものとして、国民健康保険特別会計(事業勘定)

保険給付費の増と予備費の減により合計896万円の増。

### 老人保健特別会計

医療費現金支給分として422万円の増。

### 介護保険事業特別会計

予備費743万円を保険給付費に組替え増減なし。

簡易水道事業特別会計

水道施設整備費等で、4056万円の減。

中央監視装置設置工事請負費減が主。

### 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業工事請負費が主で655万円の減。

特定環境保全公共下水道事業特別会計

総務管理費、予備費等で450万円の増。



一般質問を米沢小(6年生)が傍聴

# 一般質問



問	予算編成の考えは
答	知恵と工夫により編成する

地方分権時代の幕開けから、まもなく5年目を迎えますが、三位一体改革の全体像も懸案の先送りが目立つ中で地方交付税、国庫負担金などの削減、税収の減少などで財政規模の縮小が必要となつてきます。行財政改革実現に向けた予算編成について町長の所信を伺う。

問	庁舎整備計画は
答	町民の利便性を視野に

向かつて行財政改革を進めている最中でありますが、次の項目を基本に、

- 一、自らを点検して節減に努める事
- 二、住民の身近な行政推進を基本とする事
- 三、地域集落の自立支援施策を検討する事
- 四、子供たちを中心とした安全・安心な対策を図る事
- 五、介護老人保健施設の建設に着手する事
- 六、その他投資的事業は、継続事業とする事

以上六項目を基本として知恵と工夫により予算編成に取組みたいと存じます。

問	老健施設整備は
答	18年3月完成予定

平成13年3月に陳情書が提出されてから3年9ヶ月になりますが、施設整備のスケジュールを伺う。

## 平成17年度 予算編成について

日野尾 優

防災情報センターとの関連性を含む庁舎整備について伺う。

町長答弁  
防災情報センター周辺を町の拠点地域とし、JA農協西部江府基幹支所も視野に入れて検討して参りたいと存じます。

問	学校施設統合整備は
答	統合校は現施設を有効活用

地隣接地の用地買収を計画しております。運営管理については日野病院組合が行うことになっております。建設にあたっては、平成17年度にかかる予算を一般会計に計上する考えです。工事の工期については、国の補助金の内示を受けて平成17年6月着工予定、18年3月完成といたしております。

町長答弁  
児童数が減少する中で、小学校の統合は避けて通れないところと考えます。厳しい財政状況を踏まえ、現有の施設を有効活用していくことが望ましい。拠点となる学校は児童数、教室数を検討した場合、給食センターを併設する江尾小学校が望ましい。統合時期等は保護者、地域住民との理解と合意を得ながら町づくり委員会で話し合っていきたいと考えます。



給食センターが併設されている江尾小学校



問	工業団地の今後は
答	企業誘致に努力する

自治体は大きな試練の時代を迎えております。これから10年、20年後どのような町になつていくのか、まだ明確な姿は見えておりませんが、限られた予算の中でどう英知を結集し、元氣のある江府町、魅力ある江府町をつくっていくのか、まさに05年は正念場です。町がこれまで築いてきた、保有財産の活用をいまま一度考えるべきで、米原

## 小江尾工業団地の 今後の運営について 町歌の制定について

田中 幹 啓

分校のあり方、休校になった下蚊屋分校、エーデルワイス、地ビール事業に町は関与しなくてもいいの、市民農園の管理等、せせらぎ公園、管理棟など有効に使われているのか。さて本題の小江尾工業団地は企業進出、まさに地域の経済の一つの一翼を担うというところであります。一社も進出がありません。今までもかなりの投資され、経営上どのようなか、行政側としてどのように努力されたのか、今後の見通しなど町長の所信を伺う。

町長答弁  
米原分校、下蚊屋分校等々の施設につきまして、従前より議会決算審査、町内調査等でご指摘のあったところ、今後どう生かすのか、行政改革の一環だと考えておりますので、真摯にこの



企業誘致を待つ工業団地

問	町歌の制定は
答	制定に向け取り組みたい

町歌の問題は今回で4回の質問です。結果として今日まで誕生していま

問題について議論を進めてまいりたいと思っております。工業団地投資額は1億1800万円で実質分譲販売可能面積は2・8ヘクタールで、用地費がその内8400万円です。企業誘致は平成10年度から企業向けの宣伝パンフレット等々を作成しながら、県の企業立地担当課を通じて東京事務所並びに大阪事務所と調整を図りながら企業への誘致宣伝に努めてまいりましたところ、ごさいます。今後とも企業誘致に努力してまいりたいと考えております。

せん。コーラスグループの人たちも江府町の文化を歌い、自然を歌い、歴史を偲び、活力ある町を目指して活躍しております。江府中学校は鳥取県でも有名な吹奏楽のクラブがありますし、各小中学校にもそれぞれ感性豊かな校歌があります。町民がわが町を誇りに思い心に力と元氣を抱くメロディー、歌詞の必要を感じますが町長の所信を伺う。

町長答弁  
私も本年、他の町村の記念式典に出席しました。全町に町歌がありました。それぞれの町の情景が詞をうかがうたびに、また歌を聞くたびに特色がありました。江府町にとつては行政改革という厳しい中、何か暗いイメージですが少しでも明るく又、心強い話題と思えますので町民歌制定に向け取り組んでみたいと考えています。



# 一般行政について

池田成弘

問	行財政の骨子は
答	最終は18年度予算に

我が町でも自立の町づくりを選択し、行財政改革の取り組みが急務となった。自分達に行うのが大前提ですが、行政は身近で透明であり、多くの声を聞くとともに、特に弱い立場の人の意見も大切である。

財政面でも年々減り続ける税金、交付金、補助金、逆に公債費の増加のため人件費の見直し、負

担金補助金の検討等、中・長期的な財政計画が必要です。町政は生きものであり、行財政の骨子はいつ頃までに計画されるのか伺う。

### 町長答弁

三位一体改革により地方の自治体は一段と厳しさを増すため、町民一体となつて取り組み住民に分かりやすく透明で多くの町民の声に耳を傾け、弱者の立場にたった施策を講じます。

財政改革に向け内部で協議中であり、今後町づくり町民会議推進委員会で協議し議会に報告します。17年度予算には身近な所から反映し、最終的には18年度予算編成時には骨子を示します。

### 町営住宅の今後は

現在、人口3902人、高齢化比率35・32%、今後人が住まなければ町の発展はなく、投資的経費が増える中、町営住宅は大変好評であり、過疎対策の一環として取り組むべきと考えるか町民の考えを伺う。

### 町長答弁

住宅事情は空き屋が増える傾向である。しかしUターン促進や若者が定住を考える上で住宅対策は重要な施策です。

現在22戸入居済み、2月末2戸完成予定です。今後空き屋整備にも助成を考え、公営住宅整備事業等の活用についても検討いたします。

問	町行造林の今後は
答	きめ細かな施策の実施

町の公有造林1757ha、内町の持分面積560haと多くあり、その反面償還金6億9500万円とあり、最終償還は平成45年です。23年間で6億5000万円が必要

です。又持分面積の大半が7級35年生以下で間伐枝打ちが必要です。

厳しい財政状況の中であるが、先を見据えた造林管理、更には林道の開設等、大きな償還金に役立つ森林計画をどの様に立てられるのか伺う。



台風により被害を受けた山林

### 町長答弁

木材価格の低迷と過疎高齢化により厳しい状況です。昭和37年以降の植栽であり伐期は平成25年以降であります。7令級の間伐枝打ちが必要で、助成金等の要望をいたします。森林の多面的機能の発揮と本町の大きな財産形成のためにも今後努力いたして参ります。

いったん森林が破壊されると、回復が困難であり、森と人の共生など重視しながら森林整備計画を基本とし整備をすすめます。



# 農業行政について

越峠恵美子

町長答弁

今後農地を保全して行くためには、まずもってそれぞれの集落におきまして「自らの地域は、自らで守る」努力をしていただき、農地の利用集積と集落営農の推進を図っていかねければならないと考えます。又自らが耕作出来ないときは、意欲のある農業者に貸し出すか、売り渡す等、土地の流動化を促進して優良農地を保全することが肝要であります。なお後継者の確保こそは、農業と農村の発展にとって重要なことであり後継者に農業への希望と意欲を持たせることが大切であります。

問	農業離れに対する取組みは
答	土地の流動化を促進

江府町の基幹産業は農業と言われています。しかし農業を取り巻く環境は年とともに厳しさを増しています。又急速に進む高齢化と担い手の減少等により、自分の農地を守る事が困難な人が増えて農業離れにつながっています。本町の農業が将来夢と希望を持てる様にする為に今後の様に取り組まれるのか伺う。

問	粗飼料不足の対策は
答	越冬飼料の斡旋を

長雨により今年はおとんだの畜産農家で牛の粗飼料であるワラの確保が出来ていないが、町として何か対策を考えているのか伺う。

町長答弁

鳥取西部農協といたしましても越冬飼料の斡旋をされているところで、又畜産農家の育成のためにも農作物被害対策事業を検討してまいりたい。

問	農家所得減少の対策は
答	物心両面の意欲喚起の手助けを

何年か何十年に一回あるか無いかの異常な年、

町長答弁

農家所得減少と生産意欲衰退を防ぎ農産物の生産振興に対し今後の様に  
被災農家の救済と再生産に向けての物心両面の意欲喚起の手助けと、農家の皆さんの心理的、精神的な打撃の相談を通じ、少しでも心の安らぎ、安定感を取り戻していただきたい。



放牧された牛（瓜菜沢牧場）



# 商業振興について

上原二郎

問

店舗の存続と活性化の方策は

答

駅周辺整備と合わせて検討

廃止かどうかで多くの町民から存続の要望があった、鳥取西部農協のスーパーが何とか引き継がれ3店舗となつて営業をしています。

今後の高齢化、特に交通弱者のことを考えると、江府町の店、特に食料品店を町行政が支援して残していくことが必要と考えます。

人口が減り車で米子に買い物をするのが普通になった今、田舎で商売をするのは大変厳しいものがあります。

しかし、賑やかな店が実現すればお年寄りだけでなく皆にとつても便利になり、ひいては活気

ある町作りの一助になる

はです。又、企業誘致はなかなか大変ですが3店舗で12名の職場が確保できているわけです。そういう観点からも、是非今後元気のいい店作りに行政も取り組んで行くべきと考えます。

具体的支援には、駐車場の整備や店舗の改築等色々あると思いますが、実情を調査し積極的な支援をすべきと考えますが、町長のお考えを伺う。

町長答弁

商業振興についての質問でございますが、江尾の街中から商店が次第に少なくなつて行くこと

につきましたは、町民共々さびしい限りであります。

商業におきましても、高齢化と後継者不足の中で、設備投資等も出来にくい現状にあることも、よく承知致しておる所であります。

最近においては、鳥取県西部農協のマーケットも閉鎖の心配をされましたが、おかげさまで安達

商事さんに受け継がれ、当面の不便は解消出来る所であります。

このような状況を踏まえ、江尾駅を中心として周辺におきましては、総合健康福祉センター、郵便局等もあることから、高齢者を中心とした町民の利便性を考えると江尾駅周辺の開発整備も必要であろうと考えます。

商工会を中心としてテナントによる食料品、衣料、文具、雑貨等の店舗の確保や、空き店舗を利用して学習塾の開設など色々知恵を出して検討する必要がありますと考えています。

駐車場の問題は駅周辺の開発整備の中で総合的に検討すべきことと考えており、近隣の住民の協力も必要になります。

開発整備に当たっては、商業者自らの熱意が一番であり、今後共々に検討をして行きたい。



江府町商工会大売出し



# 行政改革について

大沢 公人

問	組織と機構改革は
答	住民との信頼関係で

たな公務員制度が検討されてきているのでその結果を参考にしながら、速やかに実行してほしいが、今後の取り組みは。

### 町長答弁

▼組織の見直しと機構改革は、時代に即応した事務の効率化を図る事を前提に協議し、その内容を住民に分かりやすくしてほしい。

▼定員管理の適正化が大変重要で有り事務量を調査した結果にもとづき適正な職員の人数算定が必要である。

▼給与の官民差が13%弱もある様に報じられており、国、県でも今年度新

ておりますので事務量を調査し適切な人員配置を行います。

▼給与の適正化ですが、国の人事院勧告、県の状況等更には地域のバランスを考えながら是正に努めたいと思います。7月から職員給与5%カット、管理職手当、旅費の日当削除、寒冷地手当の廃止等も職員の協力を得ながら実施しております。

議会議員、特別職につきましても4月から削減を行い健全な財政運営に努めています。

来年度も健全な財政運営に資するため、職員に提案し協力を得ながら健全化を図ってまいります。

問	補助金助成金負担金の見直しは
答	必要性の有無抜本的に検討

▼補助金、助成金、負担金のメリット、デメリットを十分勘案してその必要性に応じて検討することが大切だと思う。

▼外部団体の整理統合や民間委託の諸問題等、今年の9月頃、公の施設管理に指定管理者制度が導入されており、その再編をどの様にされるのか。更に外部委託の笠原市民農園、社会福祉協議会、シルバー人材センター等の整理統合が行革の第一と考えるが町長の所見を伺う。

### 町長答弁

▼補助金、助成金、負担金の見直しですが行政内部の判断だけでなく、住民集落

参画の中で十分協議していただき必要性の有無などを抜本的に検討していきたい。

投資的経費は従来の継続事業を優先し、住民の身近な所から事業推進に努めたいと思います。▼外部団体の整理統合民間委託の問題ですが、数々の施設を委託しており今後は総合的に考えていきたい。



第1回まちづくり推進委員会

# 行政調査報告

**地方行政調査特別委員会**  
調査日 平成16年10月28日～30日

**調査目的**  
住民の役割と官の役割を明確にしたまちづくりについて

**調査地**  
長野県小布施町

**小布施町の概要と状況**

小布施町は、長野県北部、長野盆地の北東に位置し面積18・07km<sup>2</sup>、人口11,460人の町ですが、歴史的に商業、流通の町文化の発信基地として発展してきました。

現在は、小さな町の特徴を活かして、「参加と行動」を積み重ね、まちづくりをすすめています。今後、税財源の確保は一層厳しさが増すと思われませんが、小布施町においては他の自治体がこれから整備しなければならぬといわれるインフラ整備についてはほとんど完了しています。特に、町

民の生活に直接影響のあるライフラインについてはほぼ整備を終え、また、小学校、中学校、保育園、幼稚園、公園、美術館や福祉施設も充実しています。今後は、施設の維持管理に努めることとなり、財政が厳しくなるこれらの時代に整備するよりも先見があったといえます。

小布施町は地方分権が進み市町村合併問題に直面する中で、安易に合併を選択せず、行政と町民が一体となり自立の道を模索していくため、それまでの庁内プロジェクト、合併問題懇話会などの様々な研究結果や多くの町民意見の集大成として、将来のまちづくりや行政運営の方向性に関する自立に向けた将来ビジョンを策定している。

また、自立した元気のあるまちづくりのために、

- 以下の5点を柱とした「まちづくり戦略」を基として具体的な改革と実行計画を進められている。
- 1. 住民と協働で築くまち
- 2. 良好な環境を未来へ引き継ぐまち
- 3. 子供たちが健やかに成長するまち
- 4. 人が集う元気なまち
- 5. 財政改革推進のまち



北斎館外観

**考察**  
江府町においてもまちづくりの具体的な改革、実行計画は進められていますが、これは将来のまちづくりの夢と希望をつなぐための手段でありま

す。しかし、多くの皆さんの協力のもと、行政と町民がともに痛みを分かち合い、支えあうことができ



栗と北斎と花の町「小布施」についての説明

**調査目的**  
地域づくりの目標の設定と具体的な推進手法について

**調査地**  
長野県栄村

**栄村の概要と状況**

栄村は長野県の最北端に位置する面積271・51km<sup>2</sup>、人口2,667人と広大な村であるが山林原野が92・8%を占めるうえ、全国でも有数の豪雪地帯として知られている。栄村の地域づくりのユニークさは、その目標の設定にあります。「個を輝かせること、それが地域づくり」として、村民一人ひとりがいきいきと暮らし、その能力を発揮できるようにすることが目標に据えられています。

平成12年に策定された「栄村総合振興計画」には、村づくりのキャッチフレーズとして「みどり豊かな心のやすらぐ村」を掲げています。

そのために、

- 1. 一人ひとりがいきいきと、もてる能力を発揮できる環境づくりをすすめる。
- 2. 自然を大切にし、地域の歴史・文化をふまえて生活条件を整備する。
- 3. 村民の自主性と連帯性を強め、村民の創意と力を生かした村づくりをすすめる。

という3つの基本的な考え方が示されています。「個としての栄村」の発展をつきつめて行けば、それは自治の担い手である「個としての住民」の発展を意味すると言うことでもあります。個としての地域の特性や、そこに住む一人ひとりの生活の発展をみない開発政策の展開は、地域の持続的発展には結びつかず、個を輝かせることこそがあたりまえの住民自治の考え方としてあります。



単独で村政を維持される栄村役場



新潟県中越地震の日に竣工した栄村役場での説明

**考察**  
栄村は江府町と同じように集落が点在しており、住民の高齢化比率42%、しかも豪雪地帯という環境の中、耕作放棄抑制の対策で田直し事業、冬期の集落内道路の交通確保のための補助金のない道路改良事業等を行なっているが、それぞれ農家が何を求めているのか、集落が何を求めているのか、

また住民負担の軽減をどうすれば図れるのかを行政と住民がお互いにアイデアを出し合い、協力し合い行なっている。これにより住民の満足が得られるものができる、行政の負担も軽くなっている。

単独の道を選択した江府町においても今後、住民負担が増えることは避けて通れないかもしれませんが、負担をお願いするからには住民が満足できるアイデアとサービスの提供は絶対条件だと考えます。

# 町内事務調査報告書

## 総務常任委員会

調査日 平成16年11月18日

### 行財政改革

本町は、単町で進むことになった中、行政内部の改革が叫ばれている。人事評価の導入、退職勧奨、物件費の検討、人事管理などが9月議会で発表になったが、具体的にどう進めていくか、どう成果を出していくのか正

念場を迎えている。三位一体改革が地方に及ぼす影響は大だと思える。特に地方交付税削減は必至であり、厳しい財政状況の中で住民の要望に答えたいのが、危機感を持ち、英知の結集が不可欠であるという熱い議論の中から生まれた方向であ



行財政改革の推進状況を調査

る。

職員も真剣に現在の状況を認識され、地域間競争に勝つ努力を望むものである。同時に執行部の指導力が、今ほど問われていることはないと考え

### 防災・

#### 情報センター

鳥取県西部地震の時、防災無線で住民へ情報伝達が出来ない状況に陥った反省から、今日の建設に結びついた。図書館、まなびのホールなど多面的な活用が望まれるが、構造的に室内の状況はあまりにも小さい部屋が多くあり、住民の有効活用に全員が不安を感じ、心配を抱いた。約6億円からの投資であり、心配が単なる心配で終わるように、知恵ある活用を望むものである。

又、鳥取西部農協、防災・情報センターなどの周辺を今後本町の運営にどう活かしていくのか考えていく必要がある。



御机地区農業集落排水処理施設

#### 御机地区農業集落排水

御机の田んぼの中に処理場が建設されている。墓地の建設と併せて新しい方向が示されており非常にアイデアのある建設であると評価できる。

#### 御机地区簡易水道

工事は適切に実施されており安定した水道水の供給が行われていた。

# 経済建設常任委員会

調査日 平成16年11月16日

## エバーランド

### 奥大山

エバーランド奥大山は5年目を迎え又、足立支配人となって2年目となります。平成15年度は黒字化の年と位置づけ積極的な営業努力と費用効率の見直しに取り組み約500万円の黒字となっています。

この中には1400万円の減価償却が含まれており、それも入れると前年より約2000万円の黒字となっています。



エバーランド奥大山

今後の戦略として、会席の予約客の一層の増加、その為の団体セールスを進め年間を通して売り上げの安定を図ることとしています。

昨年整備された木谷沢自然遊歩道はエバーランド奥大山のホームページで紹介され、集客につながって来ています。

今後とも、冬のスキーを始めとしてエバーランド奥大山の魅力を発信し更なる発展を期待します。

## 防災・情報センター

約6億円をかけて建設した防災・情報センターは、計画通り工事が進み本体工事はほぼ完了しています。

今後、周辺の建物等も含めて最も有効な運営方法を望みます。

## グリーンステージ氷工場

江府町として初となる誘致企業(株)グリーンステージは今年の秋に造成工事に着工しました。

来年の春からは、工場本体工事にかかり平成18年春には操業開始の予定です。期待される雇用ですが既に4名の採用となっています。

今後、工場の増設も計画されており計画だと17〜18名の雇用が見込まれます。

工場の位置は江府町の観光拠点エバーランド奥大山の途上にあり、景観にも恵まれており観光の面からも期待します。



竣工した防災・情報センター

## 市民農園

### 笠良ファーム

市民農園笠良ファームは農園の区画を小さくするなどの努力にもかかわらず平成15年度において実質町費が約600万円掛かっています。

又、今後は管理等やコテージも修理が必要となっていく状況です。

市民農園を開設した当時と状況が大きく変わり、

又当町の財政も厳しくなることを考えれば売却等も含めた根本の見直しに早急に着手する時期と考えます。

# 教育民生常任委員会

調査日 平成16年11月11日



江尾小学校授業

## 小学校統合

統合を視野に入れた既存の学校施設と環境調査受け皿となる小学校については次の検討項目により江尾小学校が望ましい。一、財政的にも支出を抑えることを念頭に現状の施設を有効に活用する。二、児童数、教室数を検討した場合、教室が多く、給食センターを併設して

いる。三、小学校へのバス通学について、マイクロバスの運行等検討を要する。四、平成21年度を目標に努力されたい。五、旧校舎の利活用については、教育委員会のみでなく検討されたい。六、統合に関しては、早い時期に、議会及び地元の方には説明をすべきである。



老健施設建設のため  
解体予定の交流センター



## 老健施設「あやめ」 について

一、周辺の地権者と協議の上、16年度中には解体、整備等完了するよう切望いたします。



チロルの里グループホーム・デイサービスセンター

## 特別養護老人ホーム、 グループホームに ついて

平成16年11月1日に新しく開設、  
グループホーム定数9名  
現在町内入所者 2名  
町外 1名  
デイサービスセンターい  
こい 定数10名  
ワンユニットでは厳しい。

# あなたから出された陳情の結果

みなさんから提出のあった陳情を常任委員会で審査し、委員長の報告を受け12月定例議会本会議で審査した結果、次のとおり決定しました。

件名	提出者	審議結果
利用者負担の大幅増など介護保険の改善を求める国への意見書提出についての陳情	鳥取市西町3丁目101-2 「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動 鳥取県実行委員会 実行委員長 村口徳安 他1名	不採択
安心してかけられる医療保障の充実改善を求める国への意見書採択についての陳情	鳥取市西町3丁目101-2 「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動 鳥取県実行委員会 実行委員長 村口徳安 他1名	不採択
「改革」年金法の実施を中止し、最低保障年金制度の実現を求める陳情書	鳥取市西町3丁目101-2 「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動 鳥取県実行委員会 実行委員長 村口徳安 他1名	不採択
保育・学童保育・子育て支援施策の拡充と予算の大幅増額を求める意見書採択を求める陳情書	鳥取市西町3丁目101-2 「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動 鳥取県実行委員会 実行委員長 村口徳安 他1名	不採択
消費税の大幅増税及び定率減税縮小に反対する陳情書	鳥取市西町3丁目101-2 「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動 鳥取県実行委員会 実行委員長 村口徳安 他1名	趣旨採択
「三位一体改革」に関する意見書採択を求める陳情書	鳥取市西町3丁目101-2 「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動 鳥取県実行委員会 実行委員長 村口徳安 他1名	趣旨採択
郵政民営化に反対し、郵政事業における国民へのサービス向上とユニバーサルサービスの確保に関する意見書を求める陳情書	鳥取市西町3丁目101-2 「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動 鳥取県実行委員会 実行委員長 村口徳安 他1名	趣旨採択
自衛隊をイラクから撤退させ、憲法9条を守ることを要求する陳情書	鳥取市西町3丁目101-2 「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動 鳥取県実行委員会 実行委員長 村口徳安 他1名	継続審査

件 名	提 出 者	審議結果
「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する陳情書	鳥取市富安2-89 食とみどり、水を守る鳥取県労 農市民会議 議長 鎌谷広治 他 1団体	採 択 (意見書提出)
WTO・FTA交渉に関する陳情書	鳥取市富安2-89 食とみどり、水を守る鳥取県労 農市民会議 議長 鎌谷広治 他 1団体	採 択 (意見書提出)
「教育基本法の改正を求める意見書」提出を求める陳情	米子市錦町2-143 日本会議 会長 廣江 弑	採 択 (意見書提出)
教育基本法の改悪反対意見書提出について	米子市博労町3丁目 鳥取県西部地区革新懇話会 代表 足立節男	不 採 択
「教育基本法の理念を生かすことを求める」国への意見書採択についての陳情書	鳥取市田島454-4 新日本婦人の会 会長 市谷貴志子	不 採 択
江府町議会の「議会改革に関する調査特別委員会」で提案のありました、政治倫理条例(案)の一部見直しについての陳情	日野郡江府町江尾2076-4 江府町商工会 会長 大岩泰彦	継続審査
江府町政治倫理条例(案)原案の趣旨を尊重し、採択し制定についての陳情	日野郡江府町武庫651 倫理条例を考える会 代表 宇田川満	継続審査

# 議員提出議案

議員発議により、江府町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正が提出され、全会一致で可決されました。

内容は、内国旅費のうち日当に相当する額（千300円〜2千600円）の支給を廃止するもので、1月1日から施行されました。

議員発議により、北方領土早期返還の実現に関する決議案が提出され、全会一致で決議され、関係行政庁に要望書の提出を行いました。

本年は戦後60年、日露間の平和的話し合いにより択捉島と得撫島との間に国境を定めた日魯通好条約締結150周年という歴史的な節目に当たるとした。

## 議会等に関する調査特別委員会

### 第5回（11月8日）

①政治倫理条例案の10条町工事に関する遵守事項について、議論され、有識者を招いて意見を聞くこととなった。

②費用弁償（町内・旅費の日当部分）に関する条例の改正を12月定例会に提案し1月1日から施行することを決めた。

### 第6回（11月20日）

政治倫理条例について講師を招いて勉強会を実施。（講師）

政治倫理・九州ネットワーク代表世話人 糸山正義先生

勉強会后、政治倫理条例案の10条町工事に関する遵守事項について、制定されれば、江府町の経済情勢に影響が出るという意見があり、実際に制定された町村での状況を更に詳しく調査することとした。

### 第7回（11月29日）

①政治倫理条例を既に制定されている福岡県宮田町で議員をされていた方を講師に招いて勉強会を実施。

（講師）政治倫理ネットワーク・福岡の世話人 わたなべひろやす先生

勉強会后、政治倫理条例案の10条町工事に関する遵守事項について議論されたが、「江府町」にあった条例を制定するべきという意見もあった。

### 第8回（12月8日）

政治倫理条例（案）について、各条項をひとつひとつ確認。

10条の町工事に関する遵守事項とそれに関連した第4条についてを除けば、基本的には、制定することによって一致。

### 10条の町工事に関する遵守事項については、12月7日江府町商工会会長大岩泰彦氏から一部見直しについての陳情、12月8日には、倫理条例を考える会代表宇田川満氏から原案どおり制定を求める陳情が議長に提出されたことから、委員会に付託後に検討することとした。

### 第9回（12月20日）

議会等改革に関する調査特別委員会に付託された2件の陳情と10条の町工事に関する遵守事項について、審議した。

陳情については、2件を継続審査とするが6人、不採択とするが6人で委員長採決により、継続審査とすることとなった。



特別委員会

# ひふみ



本二 福田あゆみ

## 二十歳を迎えて

私は今関西の大学で勉強しています。故郷を離れて一人暮らしを始めて二年が過ぎようとしています。たくさんの事がありました。目の前のやらなければならぬ多くの事を一つずつこなしていく中で、故郷の江府町を思い出すことはほとんどありませんでした。

私の学んでいる建築デザインは、人が心地よく生活できるための勉強です。講義では著名な建築家の育った環境や生き方も学びます。私は初めそんなことは建築には関係ないと考えていました。しかし学習を続けていくうちにそれは間違いだと気が付きました。芸術は頭の中だけか

ら生まれるのではないのです。人間から生まれるのです。豊かな環境で育ち、たくさんの素晴らしい人に出会うからこそ、温かみがあり、人の心を動かす作品が生まれるのです。

私は江府町で育ちました。普段は確かに忘れていくかもしれませんが、懐かしい友人達がいま、いつか私が作品を生み出すとしたら、それはここから生まれるのです。都会の激しい生活の中からはなく、故郷の美しい緑、たくさんの人達から溢れるほどにもらった愛情の中から生まれるのでしょうか。私は成人を機にこれまでを振り返り、そしてこれからを見つめ、私を育ててくれたあらゆるものに感謝しています。両親だけでなく、祖父母、友人達、先生、そして自然を含めたすべての環境へ。わたしの大切なものは全て私の中にあります。



本三 門脇良太郎

## これからの自分

今年二十歳を迎えて大人の仲間入りをした訳ですが、正直まだ大人になつたという実感はありません。まだ少し自分の中で学生の延長のように思っている所があり、早く大人の自覚を持ち、節度のある行動が出来るように心掛けたいです。今はこうして無事に就職もでき、今まで僕を支えてくれた両親や親戚、学校の先生、友人などたくさんの人に感謝しています。

中でも両親には特に感謝しています。

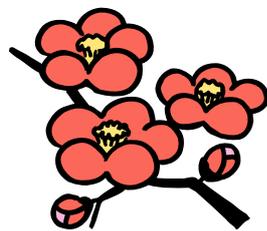
僕がこの世に生まれてから今日まで二十年間育ててくれていろいろと世話になり迷惑も掛け、心配もさせたのでこれからは少しでも楽をしてほしいです。

就職してから今年で一年と少しになり、学生の頃の友達にもめつたに会う事も少なくなりました。

県外に出ていった友人などもいます。

会えなくなつてしまったのは少し寂しいですが、みんなもそれぞれ頑張っているの自分も頑張らないといけないと思います。

これからの人生いろいろあると思いますが自分なりに頑張っていきたいです。



## あとがき

▼新しい年を迎え皆様のご健康とご多幸をお祈りします。

▼昨年は新潟地震やインドネシアの大津波など人智を超えた災害が起こり自然の脅威と、その後人々が助け合う事の大切さを感じました。

▼江府町においては単独を選択しその後福田町長から竹内町長に町の舵取りが引き継がれました。議会では厳しい状況を乗り越える為に議会改革に取り組んでいます。

▼今年江府町の将来を具体的に方向付ける大切な年となります。住民の皆様が町づくりに参加する仕組みも動き始めました。我がふるさとを誇りを持って次の世代に伝える為に皆一丸となつて頑張ります。

上原二郎

編集委員長

副委員長

委員

浜本伸介

池田成弘

日野尾優

上原二郎

川端雄勇